

令和 5 年度社会福祉法人正清会事業報告書

法人の基本理念である「尊厳」「敬愛」「和」の具体的な実践のため、令和 5 年度のテーマを「次世代の介護サービスへ～継続・向上・革新」として、以下 5 項目の重点目標を中心に、各事業所で取り組みました。

【重点目標に対する取り組み】

1. 入居者、利用者の増加に取り組む

- 1) 親身になって対応する（断らない、次に繋がる対応）を医療機関・居宅等と連携し行った。
- 2) 入居者・ご家族等に笑顔で接客する事を心掛けた。
- 3) 各拠点、利用希望者や地域のニーズに応えるため、多職種で連携しながら個別ケアへの取り組みを行った。
- 4) 介護報酬改定を踏まえ、阿知須共立病院との連携体制の見直し等を行い、令和 6 年度からの新たな加算取得の体制整備を行った。
- 5) 定期的に地域等に向けた広報誌の発行、医療機関・ケアマネへの訪問等を積極的に行い情宣活動に努めた。

2. コストパフォーマンス（費用対効果）を意識した経費節減（光熱水費、介護用品、事務用品）に取り組む

- 1) 業務の効率化、「な・い・じゅ・か」（無くせないか、一緒にできないか、順番を変えられないか、簡単にできないか）を実践した。
- 2) 各種会議等で現在の高熱水費を職員へ周知する事で削減に取り組んだ。
- 3) 介護用品、事務用品等の価格情報を各種業者から集め、見直した。

3 次世代の人材育成に取り組む

- 1) 各拠点と現在の人事配置等の情報共有を図り適正な人事配置に努めた。
- 2) 規程、業務マニュアルの整備（仕事の見える化、指導・育成の標準化）を行った。
- 3) 採用活動の強化（ハローワーク、各学校を訪問し就職担当者との情報共有、魅力ある求人票の提示、就職フェアへの参加、積極的な実習生の受入れ）を行い新卒者 5 名（介護職員 3 名・調理員 2 名）の採用に至った。
- 4) 勤務経験を考慮した計画的な職員研修の検討を行った。
- 5) 働きがいのある、魅力ある職場づくりに取り組み、各種会議にて、職員の声を吸い上げ、風通しの良い組織づくりに努めた。職員の働きやすさ、幅広い社会貢献を法人として援助する為、新たな休暇制度（誕生日休暇、骨髄ドナー休暇、ボランティア休暇）を新設し、令和 6 年度より実施することとした。非常勤介護職員の処遇を法人への貢献度に応じ個別に検討し、令和 6 年度より一律の処遇を改めることとした。山口県介護施設 SAFF 協議会に参加し、介護施設の労働災害活動・啓発に取り組んだ。
- 6) 職員の専門性、人間性を高め、幅広い知識・技術の習得を支援し、職員の生活の安定を図ることを目的に、資格取得・研修等受講料の貸付制度を創設した。職員の自己啓発、資格取得等を積極的に支援し、資質向上を図った

4 防災に取り組む

- 1) B C P（事業継続計画）の策定に取り組んだ。

※災害や事故等の発生により、通常業務が中断した場合に可能な限り短時間で業務が再開できるよう事前に必要な対策を講じておく

- 2) 水害時、一時避難所として地域に施設を開放する協定の締結や、山口市より福祉避難所指定を受けるべく準備を行い、地域の防災拠点としての役割を明確にし、具体化を行った。
- 3) 実践的な防災訓練（火災・自然災害）を実施した。
- 4) 非常時の事業所間、関連法人、地域との連携体制の検討を行った。
- 5) 地域の防災拠点としての取り組み（福祉避難所としての指定に向けての準備等）を行った。

5 社会・地域貢献に取り組む

- 1) ヤングケアラーへの支援を行った。

令和5年5月21日、山口市で行われたヤングケアラー、子供食堂応援・啓発イベント「『地球子供食堂』つながりリングチャリティ Festa」に法人として協賛した。また、荒木理事がイベントに参加し、ヤングケアラー問題の啓発の一翼を担った。

- 2) コロナの第5類移行を踏まえ、感染予防等を行いながら、事業所ごとに施設見学や体験学習の受入れ、講師派遣など、地域との交流を行った。

法人本部

1 理事会

- 1) 日時：令和5年6月12日 16:00～17:00 場所：白松苑会議室

理事総数6名、出席者：理事6名 監事2名

議事 議案第1号 令和4年度事業報告並びに決算について

議案第2号 令和5年度第一次補正予算について（施設整備積立金の積み立て）

議案第3号 給与規程の変更について

議案第4号 役員の推薦について

議案第5号 定時評議員会の開催について

議案第6号 定時評議員会の開催について

報告事項 理事長の職務執行状況について

- 2) 日時：令和5年6月26日 16:00～17:00 場所：白松苑会議室

理事総数6名、出席者：理事6名 監事2名

議事 議案第1号 理事長の選任について

- 3) 日時：令和6年3月6日 16:00～16:50 場所：白松苑会議室

理事総数6名、出席者：理事5名 監事2名

議事 議案第1号 定款の変更について

議案第2号 令和5年度第一次補正予算について

議案第3号 令和6年度事業計画並びに収支予算について

議案第4号 職員就業規則の改正について

議案第5号 給与規定及びパートタイム職員給与規定の改正について

議案第6号 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規則の改正について

議案第7号 評議員会開催について

報告事項 理事長の職務執行状況について
外国社債の運用状況について

2 評議員会

1) 日時：令和5年6月26日 15:00～15:50 場所：白松苑会議室

評議員総数7名、出席者：7名、議長：岩田秀夫評議員

議事 議案第1号 令和4年度事業報告並びに決算について

議案第2号 令和5年度第一次補正予算について
(施設整備積立金の積み立て)

議案第3号 給与規定の変更について

議案第4号 役員の選任について

報告事項 理事長の職務執行状況について

2) 日時：令和6年3月28日 14:00～14:50

評議員総数7名、出席者：7名、議長：中田憲明評議員

議事 議案第1号 定款の変更について

議案第2号 令和5年度第一次補正予算について

議案第3号 令和6年度事業計画並びに収支予算について

議案第4号 職員就業規則の改正について

議案第5号 給与規定及びパートタイム職員給与規定の改正について

議案第6号 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規則の改正について

報告事項 理事長の職務執行状況について
外国社債の運用状況について

特別養護老人ホーム白松苑

1 事業概要

地域に信頼される施設運営を心がけると共に新型コロナウイルス等の感染症防止と地域・家族等との交流機会の両立を目指した。また入居者の暮らしをより良くする為、ユニットケアの推進と職員の働きやすい環境づくりを行った。昨今の物価高騰に対応する為、電気代のデマンド管理(後述)、食材の調達先の見直し等により、経費削減に取り組んだ。

2 主要事業

1) 経営管理

- ・目標の稼働率 特養：92.4% SS：90%としていたが、当施設や医療機関での新型コロナウイルス発生・流行により、新規入居者を受け入れられるまでに時間を要した結果、特養：89.1%、ショートステイ 85.8%となり、目標を下回った。入居者の平均要介護度は、報酬単価が高い入居者を積極的に受入れた結果、特養 4.02、ショートステイ 2.4 と昨年を上回った。

・生活相談員が定期的に医療機関・老健・居宅介護支援事業所等を訪問し広報活動を積極的に行った。待

機者の確保・ショートステイの新規利用者の獲得に努めた。

2) 感染症防止と家族・地域との交流の両立

- ・5 類に変更後も新型コロナウイルス感染症を防ぐため、日頃から入居者・職員共に手洗い・消毒等の感染予防を行った。
- ・地域での感染状況を踏まえながら感染の予防に努め、施設内で行事を行ったり、入居者の外出や地域行事参加を支援した。
- ・感染症の流行状況を判断しながら家族との面会を窓越しから地域交流ホールでの面会に変更し、直接の面会の機会を確保した。
- ・阿知須地区民生委員 17 名の視察研修を受入れ、施設内見学や民生委員と意見交換等を行った。

3) 入居者の自立支援

- ・入居者の 24 時間シートの作成に取り組み、個別ケアの充実を図った。
- ・ユニット内でのおやつ作り等の行事を開催した。また入居者・家族と話し合いながらドライブ等を行い、外出の機会を確保するよう努めた。
- ・看取り介護を家族の希望により行った。阿知須共立病院と連携し、悔いのない最期の時間を家族と過ごせるように努めた。

4) 働きやすい環境づくり

- ・職場環境プロジェクトチームを中心に施設内の課題について議論し、積極的な意見交換を行った。職員の意見を反映させ、業務改善、必要な物品の購入等を行い、職員の満足度の向上と風通しのよい職場づくりに努めた。

5) 経費の節減

- ・レンタルマット・モップの業者を変更した（年間 440,676 円を削減）
- ・自動車保険の条件等を見直した（年間 375,280 円を削減、法人所有の全車両分）
- ・駐車場用地賃借料を交渉し、見直した（年間 537,030 円を削減）
- ・電気代についてデマンド管理を導入し、入居者の暮らしに支障の無い範囲で電気使用量の削減に取り組んだ（年間 1,399,337 円を削減、デイサービス含む）
- ・給食費削減のため、野菜の購入先に農業法人川西を加えて、安価で質の良い野菜を購入できるようにした。

6) 人材の育成

- ・施設内での実践的な感染症対策訓練や山口消防署との救命研修（介護職員 28 名参加）等を行った。また身体拘束、虐待防止、事故防止等の研修を行い、職員のスキルアップに努めた。
- ・認知症介護実践リーダー研修・介護技術研修会・ユニットリーダー研修・介護福祉職のための感染対策研修・福祉施設給食担当職員研修等の外部研修へ延べ 83 名が参加。個人のレベルアップと共に研修へ参加した職員は他職員へ情報共有を行い、知識の共有化を図った。
- ・リーダーがより責任をもって介護に取り組めるよう、介護職員の組織体制を見直した。
- ・資格取得・研修等受講料の貸付制度を創設し、職員の自己啓発、資格取得等を推進した。
- ・ミャンマーから 2 名の技能実習生を受入れ、異国の地でも安心して働ける様、多職種でチームを作りサポートしている。

3 介護保険の実績

() は前年度 * 令和 5 年度は 366 日

	入所 定員	稼働率 %	平均 要介護度	年間利用人員（延べ）
正 規 入 居 者	100	89.1 ↓ (90.7)	4.02 ↑ (4.01)	32,618 ↓ (33,096)
短 期 入 所	20	85.8 ↑ (85.5)	2.40 ↑ (2.35)	6,274 ↑ (6,241)
利用者総数	120	88.6 ↓ (89.4)	3.76 ↑ (3.75)	38,892 ↓ (39,337)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
5 月	母の日行事（各ユニットで実施）
6 月	父の日行事（各ユニットで実施）
8 月	地藏尊大祭（住職による読経は中止）
9 月	敬老会
12 月	クリスマス会（各ユニットで実施）
1 月	お正月お祝い膳
2 月	節分行事
3 月	ひな祭り

5 定例的又は随時行われる娯楽等

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 誕生日のお祝い | 毎月（各ユニットで個別にお祝い） |
| (2) 苑内ショッピング | 毎週注文による配達 |
| (3) 一般買い物 | 必要の都度随時 |
| (4) ミニ喫茶 | 毎日 午前午後 |
| (5) めり絵・ちぎり絵 | 希望時 随時 |
| (6) 習字クラブ（個別対応） | 希望時 随時 |

6 ボランティア等による舞踏等

阿知須幼稚園へ利用者の手づくりカレンダーを手渡す

7 健康・衛生に関する事業

実施時期	内 容
5 月	職員の定期健康診断（夜勤者・腰痛検診）
6 月	入居者定期健康診断
11 月～3 月	職員の定期健康診断（全員・腰痛検診）
10 月	入居者・職員 インフルエンザ予防接種
4 月～3 月	入居者・職員 新型コロナ予防接種
毎週 月・金	医師による回診
毎月 1 回	衛生委員会及び産業医による巡回指導
随 時	口腔ケア及び指導
毎月 2 回	訪問散髪（きらら、ゆうとびあ）
毎月 1 回	厨房職員検便（6 月～9 月は月 2 回）

毎月 1 回	ゴキブリ駆除（厨房 12 回、居室その他年 2 回）
入居者入居時	入居時健康診断

8 家族との連携に関するもの

- ・ 全家族へ毎月入居者のお過ごしの様子を写真にて送付
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況に応じた面会受入れ（窓越し・地域交流ホールにて）

9 地域交流に関する事業

1) ボランティアの受け入れ

6 月 2 日 十七夜祭踊り披露

10 月 24 日 中国電力 清掃活動

2 月 8 日～13 日 ひなもんまつり

2) 山口市いきいき百歳体操出張指導

依頼なし

3) 介護予防出張講座

依頼なし

4) その他

9 月 8 日 介護相談員 2 名受入れ

10 月 10 日 視察研修/阿知須地区民生委員 17 名受入れ

10 実習生等の受け入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
社会福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	20
介護福祉士	中村女子高等学校	4	48
介護福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	12
合 計		6	80

11 体験学習

種 別	学 校	実人数	延人数
教員免許法 「介護等の体験」	山口県立大学	1	5
合 計		1	5

12 建物補修及び設備・機器の更新等

コンビオーブン修理/パッキン交換（栄養課）	161,370 円
コンビオーブン修理/基盤交換（栄養課）	351,340 円
昇降機部品交換	157,300 円
誘導灯蓄電池取替	128,700 円
バイタプレップ XL（ミキサー大/栄養課）	335,500 円
エアコン（青木アパート 102 号用）	144,000 円

白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

在宅生活の継続を見据え、洗濯、簡単な調理、買い物等の手段的日常活動動作（IADL）を通して、身体を動かす機会を多く持ち、やりがいを感じて役割を持ってもらえるような働きかけを行いました。地域の方にご利用していただける様に地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と情報交換・連携し体験利用を積極的に受け入れ新規利用者の獲得を行った。

新型コロナウイルス感染防止を踏まえ利用者の体調確認・サービス終了後の消毒の徹底を行い感染防止に努めた。

2 主要事業

1) 稼働率

- ・目標を稼働率 55%としていたが新型コロナウイルス感染等による利用控え等があり結果、52.4%となり目標は達成できなかったものの、昨年度の稼働率（50.7%）を上回った。

2) 利用者数増加への取り組み（積極的な営業活動の展開）

- ・居宅介護事業所等の連携し、体験利用を 18 名受入れた。そのうち 14 名利用に結び付いた。
- ・新規利用者を獲得する為、定期的に居宅介護支援事業所へ訪問した。体験利用やサービスの内容を紹介したチラシ等を配布し、利用者の数増加に取組んだ。
- ・家族や担当ケアマネジャーへサービス利用中の写真をお渡しし、利用状況をわかりやすく伝え、情報の共有を行った。
- ・稼働率向上プロジェクトチームで特養職員と利用者増加について意見交換等を行った。
- ・買物に行けない利用者の思いに応えるため、コープの移動販売利用を開始した。利用者自ら好きな物を選んで購入することができる様、援助を行った。

3) 認知症介護力の向上

- ・認知症利用者のサービス提供方法等について月 1 回のデイサービス会議等でサービス提供方法等について協議、検討した。認知症利用者が安心してサービスを利用できるように、統一したサービス提供や、利用者に対する配慮、おもてなし等を話し合うなど、サービス向上に努めた。
- ・洗濯、調理、買い物等の手段的日常活動動作（IADL）の支援を通して認知症予防に努めた。
- ・家族、ケアマネジャー、関係者との緊密な情報共有を図り、ニーズに応じた個別ケアや機能訓練を行った。
- ・希望に応じ、ADL に合わせた創作活動、歩行訓練を兼ねた散歩等、柔軟な個別プログラム提供に努めた。

4) 感染症予防・事故防止対策の実施

- ・新型コロナウイルス等の感染症予防の為、職員・利用者の体調管理やサービス提供場所、送迎車の消毒を徹底した。
- ・新型コロナウイルス流行の為、令和 6 年 1 月に 3 日間営業を控え、早期に対応する事で感染拡大防止を行った。
- ・サービス利用中、発熱等の体調不良があった場合、早期に医療機関へ受診対応する様に家族等と連携を取りながら対応した。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数 304 日 一日平均利用者 15.8 (15.2)
30	52.4 ↑ (50.7)	1.31 ↓ (1.45)	

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4 月	花見 (桜)
5 月	運動会
7 月	七夕
10 月	花植え
12 月	クリスマス会
1 月	初詣
2 月	節分行事 ひなもんまつり

5 ボランティア等による舞踏等

すべて中止

6 実習生等の受入れ

実 習 種 別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	中村女子高等学校	3	30
介護福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	5
合 計		4	35

7 建物補修及び設備・機器の更新等

特になし

グループホーム白松苑

1 事業概要

『一人ひとりの思いを把握し、穏やかで楽しく生活していただくよう寄り添う介護に努める』を基本方針に、「その人らしい暮らしを支える」、「家族のように共に生活する。」、「地域の方とふれあいを持つ」という事業所理念のもと、地域と一体的なグループホームを目指すことに取り組んだ。

2 主要事業

1) 稼働率の目標 96.3% (定員 18 名)

①早期の入居調整などに取り組んだが、入院等により目標稼働率を下回った。

2) 感染症・事故対策の実施。

①換気や消毒などを行い感染症対策を実施したものの、クラスターが発生した。

発症者は施設内で療養し、感染症による入院はなかった。

②体操や散歩などを積極的に実施し、転倒事故の軽減に取り組んだ。

3) 認知症ケアの質を高め、利用者に寄り添った個別ケアを行う。

①生け花・レクリエーション・カラオケ・脳トレなどを実施し、食事時間や場所の調整、居室の設えなどの個別対応を強化した。

②一人ひとりの症状への対応や困難事例をはじめ、毎月認知症についての職員勉強会を開催した。

4) ICTを活用した地域との交流の方法や運営推進会議の開催の検討。

①ICTを活用した外部研修へ参加した。

②ICTを活用した地域との交流や運営推進会議の実施までには至らなかった。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

入所定員	稼働率 (%)	平均要介護度	年間利用人員 (延べ)
18	95.8 (98.4)	1.63 (1.88)	6,314 (6,463)

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4 月	花見 (桜)、ドライブ
5 月	母の日、バラの見学、ゴテチアの見学、ときわ公園・道の駅・サンパーク・セミナーパークへ外出、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
6 月	畑作り、七夕飾り作り、防災訓練、誕生会
7 月	七夕、誕生会
8 月	夏野菜の収穫
9 月	敬老会、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
10 月	十五夜、コスモス畑見学、阿知須小学校開校 150 周年記念式典、干支 (辰) 粘土細工作り、ドライブ、きらら公園イベント、誕生会
11 月	阿知須文化祭、ふれあいまつり、周防千鳥太鼓保存会メモリアルフェスタ、誕生会
12 月	餅つき、クリスマス会、防災訓練、誕生会
1 月	おせち料理、初詣、小正月フェスタ、菜の花畑見学、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、阿知須幼稚園に手作りカレンダーを贈る、誕生会
2 月	節分 (豆まき)、ひなもん、誕生会
3 月	ひなまつり (桜餅作り)、いぐらの館コンサート、防災訓練、誕生会

5 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
4 月	なし	書面にて活動報告
6 月	なし	活動報告、意見交換
8 月	なし	活動報告、意見交換
10 月	なし	活動報告、意見交換、干支 (辰) 粘土細工

12月	なし	活動報告、意見交換、餅つき
2月	なし	活動報告、意見交換、ひな人形作り

6 ボランティア等による舞踏等

ミントの会（窓ふきボランティア）

7 実習生等の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	Y I C看護福祉専門学校	1	3
合 計		1	3

8 建物補修及び設備・機器の更新等

デスクトップパソコン	179,630 円
イナバ物置	278,370 円

白松苑居宅介護支援事業所

1 事業概要

『自立支援のためのきめ細やかな相談対応』を目標に、利用者一人ひとりの意向を尊重することで、安心と安全のある自宅生活が継続できるサービスを、また、ご家族にとっては介護負担の軽減を図ることのできる介護支援サービスを実施してた。ケアマネジャー1人の体制となり利用者数は減少したが、利用者が自宅において少しでも自立できるようなサービスの取り組みを行うことができた。

コロナ禍の影響で研修や事例検討の機会は減少したが、地域包括支援センターや他の居宅サービス事業所と緊密な連携を図ることに心がけ、利用者にとって総合的かつ効率的なサービス提供に役立てた。

2 主要事業

1) 利用者の自立支援と満足度の向上

2) 関係機関との密接な連携による迅速な対応

①可能な限り研修に参加し、マネジメント力の向上に努めた。

②ケアマネジャー1人体制で支援を行うため、事業所内での話し合いはできない代わりに、他事業所や地域包括支援センターとの連携を密に図り、利用者の自立支援と満足度の向上のための介護サービスとインフォーマルな支援の提供と利用者だけでなくその同居家族に対しても支援していく体制を図った。

③各種居宅サービス事業所、医療機関及び他の関係機関との連携により、利用者の状態把握を適確に行い、リアルタイムにサービスが提供できるよう努めた。

3) 専門的知識及び技術の習得・向上

①定例の居宅支援部会や主任介護支援専門員更新研修受講のための要綱研修等への参加を通して、専門的知識及び技術の習得・向上に努めた。

3 事業実績（訪問回数）

年 度	年 間		月平均	年 間		月平均	年間計	月平均
令和5年度	要介護	117 人	9.7 人	要支援	0 人	0 人	117 人	9.7 人
令和4年度		283 人	23.6 人		0 人	0 人	283 人	23.6 人

賀宝の里白松苑

1 事業概要

施設運営テーマとして「継続」を掲げ、今まで実践してきたことを振り返り、「継続は進化なり」という言葉を意識しつつ事業に取り組んだ。

新型コロナウイルスの5類移行による規制緩和により、徐々に通常の体制に戻していく中で、面会に対する前向きな取り組みや地域行事への参加、あるいは新たな設えの取り組み等を行った。

また、ユニットリーダー研修実地研修施設の更新調査による指摘事項の改善に取り組んだ。

2 主な取り組み

1) 経営管理（経営の安定化）

- ・下半期後半に入院及び退居が立て続けにあったため、目標稼働率（特養：95%、SS：90%）を大きく下回った。収益率も、目標である8%アップどころか、0.3%ダウンとなった。
- ・節約の面では、電気代は単価の値下げもあり、かなりのコストカットができたものの、給食費は野菜の高騰などの影響を受けコスト削減には至っていない。急な欠食に対する職員買取りでは、約60食をカバー。修繕や備品の購入では必要最低限にとどめ、消耗品の購入では購入先を変更するなどの対応で節約に努めた。また、光熱費高騰緊急対策支援金を受給したことで、経営的にもカバーすることができた。
- ・ユニット推進センターからの依頼で実地研修施設としての施設紹介動画を作成。センターHPに掲載され、知名度アップを図った。「施設の概況（パワーポイント版）」は、未だ作成途中。

2) 運営管理①（質の高いサービス提供）

- ・ユニットケアにおける具体的な対応マニュアル「ユニットケアの実践」を完成させ、各ユニット職員及び関係部署にて周知徹底を図った。
- ・各ユニットにおいて毎月のイベント実施に取り組んだが、人員不足のため継続性に欠いた。
- ・当初からすでに取り組みを始めてきたLIFEを十分に活用するため、アセスメントシート、24シート及び一覧表、ケアプラン等におけるPDCAサイクルの定着に向けた取り組みを行った。
- ・ユニットケア推進センターによる実地研修施設更新調査で指摘を受けた課題に対して現状の見直しを図るとともに改善に向けた取り組み計画書をまとめた。（対応は次年度の目標とした）
- ・昨年度に続き、各部署及びユニットにおいて年間の具体的な目標の設定と3か月毎の目標に対する進捗状況（課題と取り組み）について運営会議で報告し合い、全体での現状把握に努めた。

3) 運営管理②（リスクマネジメント）

- ・事故防止に関しては、ヒヤリハット報告と記録はかなり定着したものの、傾向と対策の検討には至らなかった。
- ・施設内での事例を使つての内部研修は、昨年度に続き事例不足にて実施できていない。
- ・新型コロナウイルスが5類に位置付けられたことを受け、面会のあり方の緩和、職員の行動制限の緩和などを図った。年度末頃よりボランティアの前向きな受入も検討していった。感染状況にお

いては、昨年度のようなクラスターの発生はなかったものの、年間で職員3名・入居者4名が新型コロナウイルスに、職員1名がインフルエンザに感染した。

4) 人事管理（人材の確保・定着・育成）

- ・介護職員の補充対策として目標に掲げていた YouTube への掲載や SNS による求人活動は、準備不足にて実行までには至らなかった。介護職員の補充については、正規職員2名（1名は白松苑より異動）・非常勤職員4名を採用したが、退職者も正規職員1名、非常勤職員2名、派遣職員2名と多くあったため、まだまだ本来のあるべき体制までは確保できなかった。
- ・各職種・段階ごとの人材育成マニュアルの作成においては、昨年度より進展していない。

5) 設備管理（施設の維持・補修）

- ・予算執行案件の浄化槽ブロア本体交換、ユニット空調設備の交換を実施。その他、居室エアコンの交換、車いす用体重計の交換等を実施。また、必要性、緊急性を十分に検討した上で各種設備（厨房の蛇口、リフト浴室のシャワーなど）における部品交換を行った。
- ・令和6年度に予定している特浴一式の交換費用に対する JKA 補助事業の申請を行うも、不採択という結果となった。

6) 防災対策／地域貢献

- ・昨年度に続き、山口市主導の避難所の指定に対する協議・確認、必要な調整は、行政からの連絡がないため実施していない。
- ・BCPの策定については、ほぼ完成しているものの、付随する資料等や停電対策マニュアルが充分ではない。感染症対策部門では義務化となった実地訓練（ビデオ撮影による評価・課題分析）を実施した。自然災害対策部門では、非常食対応の実地訓練を実施した。

3 介護保険事業の実績（年間366日稼働）

（ ）は前年度

	定員	稼働率 %	平均要介護度	年間延べ利用人員
特 養	30	94.6 ↑ (94.3)	4.10 (4.10)	10,388 ↑ (10,331)
短期入所	7	82.2 ↓ (88.5)	2.32 ↓ (2.43)	2,106 ↓ (2,262)
合 計	37	92.3 ↓ (93.3)	3.80 (3.80)	12,494 ↓ (12,593)

4 事故の発生状況

事故種別	転倒 転落	ずり落 尻もち	異 食	誤 嚥	誤薬 誤配	剥 離	無断 外出	その他	計
R 5 年度	21	20	1	0	2	19	0	10	73
R 4 年度	20	12	1	0	9	15	0	27	84
増 減	+1	+8	±0	±0	-7	+4	±0	-17	-11

※その他：連絡ミス、入居者間のトラブル、忘れ物（SS）、他

5 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4 月	花まつり（中止）、清光園祭（中止）、ユニット単位での花見（お花見御膳）
5 月	母の日行事（各ユニット）、教證寺説法（寄付のみ）、河内神社春祭り（中止）

6 月	父の日行事（各ユニット）
7 月	七夕行事、賀宝夏祭り（外来者駐車場にて 2 ユニット毎に実施）
8 月	佐山地区盆踊り（中止）、J A そうめん流し（企画なし）
9 月	賀宝敬老祝賀会（各ユニットにて表彰・全体での余興なし） 佐山地区敬老会（中止）＊記念品の贈呈あり、佐山地区防災訓練（不参加）
10 月	教證寺説法（中止）
11 月	佐山地区ふるさとまつり（不参加）、川西地区収穫祭（中止）
12 月	もちつき（たこあげの会は中止） 阿知須幼稚園交流会（中止）、佐山小 4 年生総合学習（中止） 年末大掃除（業者ワックスがけ） 音楽ボランティアによる歌・演奏会
1 月	初詣（未実施）、お正月祝い御膳の提供 佐山地区七草がゆ交流会（不参加）、佐山地区どんと焼き（不参加）
2 月	節分（各ユニットにて豆まき実施）
3 月	ひなまつり（お祝い御膳の提供）

6 娯楽・余暇活動

- ①お散歩カフェ／お茶の会（毎月 1 回）
 ②口腔・嚥下体操（平日毎日）
 ③各種ボランティアサークル
 ・歌おう会（隔月 1 回） ・詩吟教室（毎月 1 回） ・茶道の会（毎月 1 回）
 ・習字教室（佐山ありの会／隔月 1 回） ……すべて活動停止

7 ボランティアの受入れ（D S と一体的に対応）

実施時期	内 容
4 月	・花まつり（教證寺住職・仏教婦人会）＊中止
5 月	・施設周辺の草取り（佐山ありの会）
11 月	・草取り奉仕清掃（仏教婦人会）
12 月	・もちつき／凧づくり／凧上げ教室（佐山ありの会、地域有志）＊中止

＊ギター演奏（おじさんズ）＆歌おう会（コスモス）、フラダンス・銭太鼓（佐山健康銭太鼓）、サンバ隊訪問（J A 山口中央）については活動停止中。

8 健康管理・衛生管理

実施時期	内 容
4 月～5 月	介護職員の特殊健康診断（夜勤者／腰痛）
5 月	入居者レントゲン健康診断（結核）
7 月	第 4 回新型コロナワクチン接種（入居者）
8 月	第 4 回新型コロナワクチン接種（職員）
10 月・11 月	インフルエンザ予防接種（入居者、職員）
11 月	職員定期健康診断（全員、腰痛健診）
12 月	第 5 回新型コロナワクチン接種（入居者・職員）＊オミクロン対応
毎週水曜日	配置医師による回診
毎月 2 回	歯科医師又は歯科衛生士による口腔ケア及び指導

毎月１回	訪問理美容（カンテック）
毎月１回 （６月～９月は月２回）	厨房職員検便
毎月１回	ゴキブリ駆除（厨房１２回、居室その他年２回）＊中止
毎月１回	害虫駆除（厨房：小蠅　／外周：ムカデ）
入居者の入居時	入居前健康診断
入居者の誕生月	入居者定期健康診断
職員の採用時	雇用前健康診断

９ 家族との関わり

- １）広報誌「かがほの風」及び「相談員だより」の配布（毎月発行・送付）
- ２）カンファレンスへの参加、ケアプランの同意等（６カ月毎の個別実施）
- ３）共有ホール・喫茶店での面会の実施、喫茶店での本格コーヒー等の無料サービスを開始（随時）
＊喫茶店での無料サービスは、職員も対象。（福利厚生強化目的）

10 地域交流・公益的活動

１）自治会活動参加

名 称	実施状況	延人数（前年度）
河内神社春祭り（ふきあげ会出店の手伝い） ＊中止	年間 ０回	０ （ ０ ）
出口溜池管理道・公園等の草刈清掃 ＊春は中止	年間 １回	１ （ ３ ）
佐山地区溝普請	年間 ２回	６ （ ６ ）
お薬師様接待・後片付け ＊同時開催の盆踊りは中止	年間 １回	０ （ ０ ）
地域合同自主防災訓練・炊き出し参加 ＊実施なし	隔年 １回	０ （ ０ ）
佐山地区ふるさとまつり実行委員会出席	年間 １回	１ （ １ ）
佐山区自治会評議員会／佐山西自治会班長会議（同日開催）	年間 ８回	８ （ ８ ）

２）介護予防出張講座（ＤＳと一体的に対応）

日時	テーマ	地区	主 催	参加者	講 師
７/21	関節症の方の生活の工夫	小郡	明治東いきいきサロン	９人	デイ相談員
３/11	関節症の方の生活の工夫	小郡	いきいきゆめサロン	18人	デイ相談員

３）土砂災害に係る避難指示を想定した情報伝達訓練（山口市）の参加

日時：令和５年５月３０日

内容：ファックスを使用した情報伝達訓練

11 実習生の受入れ

実 習 種 別	実 習 期 間	実人数
ユニットリーダー実地研修 （ユニットケア推進センター）	10月31日～11月3日	2人
	11月14日～11月17日	2人
	12月5日～12月18日	2人
	12月19日～12月22日	2人
	1月23日～1月26日	1人
	2月13日～2月16日	3人

	3月12日～3月15日	2人
		計14名
その他	なし	

12 体験学習（DSと一体的に対応）

- ・川西中学校職場体験学習 ……中止
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修（見学学習） ……中止
- ・佐山小学校4年生総合学習 ……中止

13 施設見学、介護相談員派遣事業（市社協）の受入れ

- ・阿知須民生委員見学 ……人
- ・介護相談員派遣事業 ……0名

14 主な施設維持補修等

ユニットトイレ式交換	180,000円
特浴機器部分修理	145,750円
浄化槽フロア本体交換	438,295円
厨房設備（卓上野菜調理器）交換	174,900円
車椅子用体重計交換	198,000円
ユニット空調機器一式交換	602,259円

賀宝の里白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

施設運営テーマとして「継続」を掲げ、今まで実践してきたことを振り返り、「継続は進化なり」という言葉を意識しつつ事業に取り組んだ。

新型コロナウイルスの5類移行による規制緩和により、徐々に通常の体制に戻していく中で、利用者のニーズを再認識しつつ、ニーズに応じたグループ分けやテーブル配置の変更に取り組み、個別ケアに重点を置いたサービスの提供に努めた。

年間利用者延べ人数については、土砂災害警戒レベル4の発令により3日間閉所したものの、感染症による影響もさほどなく、例年を超える状況となった。

2 主な取り組み

1）経営管理（経営の安定化）

- ・積極的な代替え利用の調整及び通所介護の利用者にウェイトをおいた受入が功を奏し、全体での目標稼働率（85％）は過去3年間で最も高い稼働率となった。通所介護における目標平均介護度（1.5）についても、わずかに上回ることができたことで、昨年度に続き想定していた予算収益をかなり大きく超えることができた。
- ・ケアマネ等とは常に連携を図ったことで、新規利用者は年間で9名を獲得、体験利用者は10名の受入れとなった。情報交換を行う関係機関の拡大は図れていない。
- ・節約の面では、特養における内容と同様。急な欠食に対する職員買取りでは、90食をカバー。

2) 運営管理①（質の高いサービス提供）

- ・個別ケアを主眼に置き、利用者個々のニーズに応じたグループ分けとテーブル配置に変更することでアクティビティを体系化し、充実化を図った。
- ・当日に係る配車や服薬管理や業務日誌の記録等に対する責任者として日毎に担当制を敷き、職員に役割意識と責任感を持ってもらうよう努めた。各種業務の見える化を図ることで、誰もが把握できる環境づくりを行うとともに、チェック体制の強化によるミスの軽減を図った。
- ・LIFE を十分に活用するため、利用者個々のニーズを職員全体で共通認識できるよう努めるとともに、PDCA サイクルの流れを作るなど、定着に向けた取り組みを行った。

3) 運営管理②（リスクマネジメント）

- ・車両トラブル時における業者への連絡等の対応マニュアルの整備は、完成には至らなかった。
- ・事故防止に関しては、特養における内容と同様。
- ・新型コロナ感染症が5類に位置付けられたことを受け、職員の行動制限の緩和及び利用者の利用条件の緩和を図った。感染状況は、年間で職員1名・利用者2名が新型コロナ感染症に感染。

4) 人事管理（人材の確保・定着・育成）

- ・職員間における判断力・責任感・利用者目線の意識に対する温度差がなくなるよう、主任にて個別指導やアドバイスを行ったが、十分な育成には至っていない。
- ・各職種・段階ごとの人材育成マニュアルの作成は、特養と同様、昨年度より進展していない。

5) 設備管理（施設の維持・補修）

- ・ケースに応じた特養の個別浴槽の使用については、昨年度に続き加算の該当利用者がなかった。アクティビティに対する器具の充実化を図り、ホール内の環境を整備した。
- ・ホール内における暖の確保については、ファンヒーターを大型の物に交換し対応を図った。脱衣所前の中庭を和風に設え、景観の改善を図った。

6) 防災対策／地域貢献

- ・特養と一体的に実施しており、特養における内容と同様。

3 介護保険事業・総合事業の実績

（ ）は前年度

	定員	営業 日数	稼働率 %	平均要介護度	年間延べ 利用人員	一日平均 利用人員
通所介護	18	307 (308)	82.0 ↑ (73.8)	1.51 ↓ (1.53)	4,529 ↑ (4,093)	14.8 ↑ (13.3)
総合事業			6.6 ↓ (10.8)	0.56 — (0.56)	366 ↓ (601)	1.2 ↓ (2.0)
合 計			88.6 ↑ (84.7)	1.44 ↑ (1.41)	4,895 ↑ (4,694)	15.9 ↑ (15.2)

4 事故の発生状況

事故種別	転倒 転落	ずり落 尻もち	異 食	誤 嚥	服薬 忘れ	忘れ物	無断 外出	その他	計
R5 年度	3	10	0	0	6	5	3	7	34
R4 年度	2	2	0	0	1	0	0	4	9
増 減	+1	+8	±0	±0	+5	+11	+3	−3	+25

※その他：連絡ミス、利用者間のトラブル、他

5 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4 月	花まつり（中止）、花見・写真撮影（お花見御前） ホール入口の飾り付け制作（桜吹雪）
5 月	母の日行事（手作りおやつ：クレープ、花束と記念写真の贈呈） ホール入口の飾り付け制作（藤の花）、壁面の飾り付け制作（こいのぼり）
6 月	父の日行事（手作りおやつ：未実施、花束と記念写真の贈呈）、 ホール入口の飾り付け制作（傘・雨粒）、壁面の飾り付け制作（紫陽花）
7 月	七夕飾り作り、壁面の飾り付け制作（花火）
8 月	夏祭り週間行事（ゲーム等）
9 月	賀宝敬老祝賀会（デイホールにて表彰・余興）、 壁面の飾り付け制作（コスモス・紅葉）
10 月	芋ほり、手作りおやつ（すういーとポテト）
11 月	佐山地区ふるさと祭り（作品出品）、干支づくり（たつ）
12 月	もちつき、クリスマス会、年末大掃除（業者ワックスがけ）
1 月	ホール入口の飾り付け制作（毛糸のボンボン）
2 月	節分（豆まき）、おひなさま飾りつけ 壁面の飾り付け制作（梅の花）
3 月	おひなさまとの写真撮影会、 壁面の飾り付け制作（おひな様の貼り絵・桜）

※毎月、誕生日会（プレゼント贈呈）を実施。

6 ボランティアの受入れ（DS単独）

- 1) 音楽教室（個人） *中止
- 2) 傾聴ボランティア・話し相手（みみの会） *中止

7 地域交流・公益的活動

- 1) 介護予防出張講座（特養と一体的に対応）
・特養事業報告を参照

2) 運営推進会議

開催時期	出席者数	主な会議の内容
6 月	4 人	現況報告（利用実績・主な取り組み・サービス内容 等）
3 月	3 人	現況報告、ボランティア再開の協力依頼、求人募集の依頼

8 実習生の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
なし		0	0

9 体験学習（特養と一体的に対応）

- ・川西中学校職場体験学習 ……中止

10 施設見学、体験利用、介護相談員派遣事業（市社協）の受入れ

- ・阿知須民生委員見学 … 名
- ・体験利用／見学 … 10名（うち、9名利用開始）
- ・介護相談員派遣事業 … 3名

11 主な施設維持補修等

風呂の給湯器交換工事	330,000 円
公用車タイヤ廃棄処理	128,480 円

多機能ホーム遠波の里白松苑

1 事業概要

「家庭や地域での心豊かな生活を支える」を目標に、地域密着型介護サービスの制度の趣旨に基づき、利用者が家庭や地域で普段と変わらない心豊かな日々の暮らしを維持していく為のサービスを、「通い」「訪問」「泊まり」の機能を活用して提供しました。

2 主要事業

1) 稼働率の維持

- ① 地域包括や居宅サービス事業所、医療機関と情報共有を図ったが利用者を増やす事が出来ず稼働率が低迷した。（令和5年度 平均稼働率90%）

2) 住み慣れた地域、住み慣れた環境の中での生活の維持を念頭にした、援助内容の見直しと実践

- ①一人ひとりの状況に合わせ、その時々に応じ家族や職員間で協議し臨機応変に対応し在宅生活の継続に努めた。
- ②家族、事業関係者と緊密な情報提供を図りきめ細かいサービスの提供に努めた。
- ③利用者のADLに合った制作活動や体操、散歩等を行い転倒防止に取り組んだ。
- ④感染症予防を行ったものの12月にクラスターが発生した。医療機関や保健所と連携を図り対処
(通いのサービスを8日間休みとし、泊りの利用者は事業所内で療養される)

3) 運営推進会議の開催や地域行事へ参加し地域との連携を密にする

- ① 7月から通常通り運営推進会議を開催し役員の方と意見交換する。
- ② 少しずつだが散歩や地域の方とふれあい交流している。

3 介護保険事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月あたり
登録	23	23	23	23	22	21	22	22	23	23	23	23	23
通い	13	12	12	12	11	11	11	12	10	12	13	11	12

泊り	8	8	7	8	7	7	7	7	7	7	8	7	7
訪問	2	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	3
介護度	1.36	1.36	1.27	1.27	1.31	1.33	1.31	1.31	1.34	1.34	1.34	1.34	1.32
稼働率	92	92	92	92	88	84	88	88	92	92	92	92	90

4 季節の行事

実施時期	内 容
4 月	花見
5 月	端午の節句・母の日行事
6 月	父の日の行事
7 月	七夕の行事
8 月	お菓子作り
9 月	月見会・敬老会・お彼岸
10 月	ミニ運動会・ハロウィンの行事
11 月	コスモス見学
12 月	ゆず湯
1 月	初詣
2 月	節分・バレンタインデー
3 月	ひな祭り・ホワイトデー

5 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
5 月 22 日		活動報告等資料送付
7 月 6 日	12 名	利用状況、活動報告、コロナウイルス感染症について
9 月 6 日	10 名	利用状況、活動報告、熱中症予防について
11 月 27 日	10 名	利用状況、活動報告、外部評価
1 月 22 日	8 名	利用状況、活動報告、外部評価総括

6 ボランティア・出帳講座等

- ・ありの会 5 月、12 月 （草取り、窓ふき）
- ・ミントの会 7 月、8 月、10 月、11 月 （草取り）
- ・散髪ボランティア （辻田さん、宮崎さん）

- ・認知症予防の出帳講座
11/25（土） 秋穂東 中津江公民館 20 人

- ・介護サービス派遣事業
6/14(水) 社会福祉協議会 2 名

- ・阿知須地区民生委員見学

10/10（火） 阿知須民生委員 19名

- ・ケーブルテレビ主催の歌の慰問

2/14（水） 2名 事業所の様子をTV収録⇒5月放送予定
認知症の理解と遠波の里をアピールする